

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 標置	感染症(PT)	出典	概要
715	2007/11/08	70715	テルモ	ヘパリンナトリウム	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	有	無	無	ブドウ球菌感 染	Vet Microbiol 2007; 122: 384-386	後ろ向き研究により、デンマークのブタでメチシリン耐性 および感受性のStaphylococcus aureus ST398が初めて 検出された。検査した100頭の肉10頭で鼻腔にST398が 検出され、3つの養豚場の肉2つが陽性であった。10の ST398分離株の内9株がspaタイプt034、1株がt1793で、ペ ニシリンに加え、エリスロマイシン、クリンダマイシンおよ びテトラサイクリンに抵抗性であった。ヨーロップのブタで この新しい人畜共通細菌が急速に拡大していることが示 唆された。
												E型肝炎	J Virol Methods 2007; 143: 112-116	オランダのブタにおけるHEV感染率を調べるため、97の養 豚場で糞中のHEVの存在を検査した。HEV感染率は2005 年では55%(53/97)で、1999年の22%(25/115)に比べ有意 に増加した。しかし、2005年の検体を、1999年の測定と同 様に希釈せず、内部標準なしで測定すると30%の感染率 となり、有意差はなかった。糞中にはRNA POR阻害物質 が含まれるため、未希釈の検体では検出率が33%であっ たのに対し、10倍希釈した検体では55%であった。
												レンサ球菌感 染	ProMED- mail20070223.066 8	米国の科学者は北アメリカで初めて報告された Streptococcus suis髄膜炎のヒト感染例を確認した。 ニューヨークの健康であった59歳の男性農業従事者が髄 膜炎で入院し、S. suis感染と判明した。患者の農場のブタ からもS. suisが確認された。S. suisはブタで重病を起こす グラム陽性球菌であり、ブタを扱う職業の人は注意が必 要である。保健当局はヒトからヒトへの感染のおそれな いとしている。
												レンサ球菌感 染	ProMED20070223.0 668	米国の科学者は北アメリカで初めて報告された Streptococcus suis髄膜炎のヒト感染例を確認した。 ニューヨークの健康であった59歳の男性農業従事者が髄 膜炎で入院し、S. suis感染と判明した。患者の農場のブタ からもS. suisが確認された。S. suisはブタで重病を起こす グラム陽性球菌であり、ブタを扱う職業の人は注意が必 要である。保健当局はヒトからヒトへの感染のおそれな いとしている。